

PLAN	No.	22	—	1	基本事務事業名	救急医療対策事業	事務事業名	救急医療対策事業	公的関与	1	シート作成日			
	部局名	健康福祉部			課名	健康推進課	主務課長名	河野 貴子	シート作成者名	中野 理恵				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☒ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		1. やさしく健やかな阿波				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実				☒ 1 該当		令和 年 ~ 令和 年	☒ 期間設定なし			
		主要施策		(6) 地域医療体制の充実				☐ 2 非該当		根拠法令等	厚生労働省救急医療対策事業実施要綱			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		休日又は夜間に治療を必要とする、救急患者が対象です。										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	休日又は夜間の救急医療体制を確立し、市民が安心して生活できる環境を整えます。									
				今年度	休日や夜間に適切な医療が受けられるよう、救急医療体制を整備します。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 阿波市医師会の当番医が、平日(午後6時~午後10時まで)と休日(午前9時~午後10時まで)の救急患者の診療治療を行います。													
	② 救急告示医療機関で当番医制をとりながら、平日(午後6時~午後8時まで)と休日(午前8時~午後8時まで)の診療を行います。													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標				
			救急患者の発生数は予測できないため、指標設定に適しません。			目標								
						実績								
						目標								
						実績								
						目標								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	1	保健衛生総務費
			令和 2 年度決算			令和 3 年度決算			令和 4 年度予算			備考		
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円			
		県支出金			千円			千円			千円			
		地方債			千円			千円			千円			
		その他特定財源			千円			千円			千円			
		一般財源	12,638		千円	12,640		千円	12,638		千円			
		計(A)	12,638		千円	12,640		千円	12,638		千円			
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.166 人	1,016	千円	0.100 人	609	千円	0.100 人	604	千円			
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0	千円	0.000 人	0	千円	0.000 人	0	千円			
	全体事業費(A+B)		13,654		千円	13,249		千円	13,242		千円			

CHECK		チェック項目					一次評価		一次評価の説明		二次評価	
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。					☐ 少ない	☒ 大きい	救急医療体制の確保は、市民の安心安全な生活に必要不可欠であり、継続した提供が必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい	
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。					☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある	
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。					☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない	
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。					☐ いえない	☒ いえる	救急医療体制の確保が図られ、市民が安心して生活が送れる環境整備が図られています。	☐ いえない	☒ いえる	
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。					☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる	
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。					☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない	
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。					☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる	
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。					☐ 目標に比べて劣っている	患者数は、住民の疾病や負傷等の発生状況に左右させるため、数等の目標達成を図ることは困難です。	☐ 目標に比べて劣っている			
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。					☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない			
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。					☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している			
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。					☒ 十分達成している		☒ 十分達成している			
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。					☐ 高い	☒ 適当	救急医療体制を整備することにより、早期に適切な治療が受けられ、入院期間の短縮など医療費が抑えられると思います。	☐ 高い	☒ 適当	
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。					☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない	
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。					☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない	
ACTION	評価点	一次評価 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 総合評価 A					二次評価 必要性 4 有効性 4 達成度 4 効率性 4 総合評価 A					
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等 ☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止					☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等 ☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止					
	当面の課題	市立の医療機関がないため、阿波市内又は既存の中核的な医療機関に頼らざるを得ないため、より密な連携協議が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点 救急医療体制の確保は、市民の安心・安全な生活に不可欠です。ついては、今後も継続して実施します。					
	改革案と実行計画	国の救急医療対策実施要綱に基づくものであり、また市民が安心して生活が送れるためにも、今後も継続していく必要があります。										
	委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 令和3年度実施事業対象

PLAN	No.	22	—	2	基本事務事業名	予防接種事業	事務事業名	個別接種事業	公的関与	1	シート作成日	令和4年7月13日			
	部局名	健康福祉部			課名	健康推進課	主務課長名	河野 貴子	シート作成者名	中野 理恵					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. やさしく健やかな阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実				☒ 1 該当		令和	年	～	令和	年	☐ 期間設定なし
		主要施策		(5) 精神保健・感染症対策の推進				☐ 2 非該当		根拠法令等		予防接種法			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		予防接種法に基づく対象年齢で、阿波市に住民票がある方と、定期予防接種により引き起された副反応により障害を残すなどの健康被害が生じた人が対象です。											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	阿波市医師会、徳島県広域化医療機関での実施により、感染症の流行を未然に防止し、健康増進を図ります。健康被害の程度に応じて法律で定められた金額が支給されます。										
				今年度	実施期間は通年です。接種費用は予防接種法に基づく接種年齢、接種期間であれば無料です。(インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌ワクチンを除く)接種者数の集計により未接種者の把握ができます。未接種者に対し、電話やハガキで接種勧奨をします。健康被害認定者は現在2名です。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 徳島県医師会、阿波市医師会との契約事務を行います。														
	② 麻疹風しん混合、BCG、二種混合、四種混合、日本脳炎、小児用肺炎球菌、ヒブ、子宮頸がん、水痘等の予防接種対象者へ個人通知及び広報、阿波市HP等による接種勧奨を行ないます。														
	③ 高齢者用肺炎球菌ワクチンの対象者に個別通知、インフルエンザ予防接種の広報、ケーブルテレビ、ポスター掲示等による接種勧奨を行ないます。														
	④ 接種後の台帳記入とコンピューター入力を行います。														
	⑤ 健康被害が起こった場合、予防接種によるものか因果関係を各分野の専門家と審議し、認定を受けた対象者からの請求を受付・給付します。														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標					
	予防接種率 MRⅡ期		接種者数÷接種対象者		%	目標	95	95	95	100					
						実績	95%	93							
	個人通知		回数		回	目標	4	4	4						
						実績	4	4							
	受給者数		受給者数		人	目標	2	2	2						
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	2	予防費	
			令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	242 千円		455 千円		435 千円								
		県支出金	18,366 千円		3,558 千円		3,634 千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	1,184 千円		1,186 千円		1,211 千円								
		一般財源	82,371 千円		74,223 千円		89,617 千円								
		計(A)	102,163 千円		79,422 千円		94,897 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.667 人	4,080 千円	0.667 人	4,061 千円	0.667 人	4,030 千円							
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		106,243 千円		83,483 千円		98,927 千円								

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	感染症の予防と蔓延防止のため、予防接種による感染症の予防が必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	予防接種により感染を防ぎ、医療費の増加を防ぐことができます。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	目標達成を維持できるように未接種者には接種勧奨を行なっています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	制度改正の周知広報を徹底し、接種率の向上を図る必要があります。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等
		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止	
	当面の課題	子どもは病気にかかる、重症化することがあります。予防接種法が制定された当初の予防接種は、罰則付きの義務接種でしたが、現在は努力義務(自主的接種)となっているため、予防接種の必要性を理解してもらい、接種率の向上を図る必要があります。効果的な時期に広報やACNを通じて接種勧奨をします。H25年6月より子宮頸がんワクチン予防接種の積極的勧奨は差し控えられていますが、定期接種の時期を逃さないよう中学1年生と高1の女子を対象に通知のみを送付しています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	予防接種法は、年々変わっています。それに加え、対象者は各自で計画を立てて医療機関で接種するため、個人通知や広報、ケーブルテレビ、健診、医療機関との連携等あらゆる機会を活用して対象者に情報提供し、接種の必要性を理解してもらい、専門的な問い合わせに対応できるようにしておく必要があります。					各予防接種の情報提供や、併せて接種率の向上に努めます。また、予防接種により健康被害の認定を受けた方が、適切な医療が受けられるよう今後とも事務を円滑に進め継続して実施します。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 令和3年度実施事業対象

PLAN	No.	22	—	3	基本事務事業名	母子保健事業	事務事業名	妊産婦・乳幼児相談指導事業	公的関与	4	シート作成日	令和4年7月28日	
	部局名	健康福祉部			課名	健康推進課	主務課長名	河野 貴子		シート作成者名	川田 悠里亜		
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託		
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)			1. やさしく健やかな阿波			実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)			(1) 保健・医療の充実			☒ 1 該当		令和 年 ~ 令和 年	☐ 期間設定なし		
		主要施策			(3) 母子保健の充実			☐ 2 非該当		根拠法令等	母子保健法		
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		妊産婦、新生児、乳幼児、不妊・不育症治療者(県、阿波市応援事業の対象者)									
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	妊産婦がより良い産前産後生活を送ることができるようにします。また、「子育て世代包括支援センターぎゅっと」の活動を通して、妊娠期から子育て期までを中心切れ目のない支援を提供することで、健康の保持増進及び養育困難家庭の把握と支援につなげていきます。									
			今年度	対象者が、妊娠、出産、育児に対しての疑問や不安を、保健師・助産師・管理栄養士等の専門職が保健指導を行うことで解消できるよう努めます。関係機関との連携を強化し、健康の保持増進及び養育困難家庭の把握と支援につなげていきます。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 保健師・助産師・管理栄養士による、妊婦と胎児の健康・食事・出産についての指導を行います。												
	② 妊産婦の問診と保健指導(異常の早期発見、正しい知識、乳房・乳頭の手入れ、家族計画、精神保健に関することなど)を行います。												
	③ 乳幼児の健康状態の観察と保護者への指導(新生児の発育、発達、栄養及び乳房管理、清潔面、生活環境づくりなど)を行います。												
	④ 支援が必要な家庭に対して適切なサービスにつなげます。												
	⑤ 不妊・不育症治療にかかる経費の一部助成を行います。												
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
	⑥利用者数	年間利用者数	人	目標	800	800	800						
				実績	1045	1027							
	⑦開催数	年間開催数	回	目標									
				実績									
	⑧新生児・乳児訪問率	1回目の訪問数÷家庭訪問対象の乳幼児数	%	目標	100	100	100						
実績				96.4	90.3								
DO	予算費目	会 計	一般会計		款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	4	保健事業費
	直接事業費	令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考					
		国庫支出金	501 千円	1,008 千円	1,058 千円	令和2年度から数値目標を事業全体の年間利用者数に変更しました。(妊娠届出時等の面接相談、乳幼児相談、療育、言語、発達相談の年間利用者数)							
		県支出金	661 千円	642 千円	664 千円								
		地方債	千円	千円	千円								
		その他特定財源	2,490 千円	3,500 千円	1,000 千円								
		一般財源	917 千円	195 千円	4,365 千円								
		計(A)	4,569 千円	5,345 千円	7,087 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.521 人	3,187 千円	0.300 人	1,827 千円	0.300 人	1,813 千円					
		臨時・嘱託職種											
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		7,756 千円		7,172 千円		8,900 千円						

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	妊産婦・乳幼児相談は個人情報に深く関係する事業であるため、市が実施主体になっていることで公平性・公正性を確保する必要があります。妊婦健診実施により、疾病の予防と健康の保持増進が図れます。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	対象者の健康の保持増進、疾病の早期発見・治療につなげることができています。また、保健師・助産師・管理栄養士等の専門職が関わることで様々な不安や悩みを聞き、子育ての孤立化予防ができています。さらに、養育困難家庭の把握と支援につながっています。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	目標は概ね達成しています。今後も、引き続き関係機関と連携を取りながら、利用者数の増加に努めていく必要があります。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	妊産婦・乳幼児相談を実施することで、養育環境や健康状態を把握し、早期に必要な支援につなげることができることから、コスト以上の効果があります。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			
	当面の課題	妊娠期から子育て期にある対象者に切れ目のない支援を行うことで、対象者の疑問や不安の解消に努め、養育困難家庭の把握と支援につなげていく必要があります。また、対象者が必要な情報を手軽に入手できるように母子手帳アプリ「ぼかぼか」を効果的に広報していく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	様々な相談ケースに合ったサービスが提供できるよう、スタッフのスキルアップを図り、妊産婦・乳幼児相談事業の充実に努めます。また、妊娠届出、乳児健診時に母子手帳アプリ「ぼかぼか」の広報を行い、登録者数の増加を目指します。					妊娠期から子育て期にある対象者に、切れ目のない包括的な子育て支援を行うことで、対象者の疑問や不安の解消に努め、事業の充実や推進に努めます。				
委員会指摘事項											

PLAN	No.	22	—	4	基本事務事業名	母子保健事業	事務事業名	乳幼児健診・股関節脱臼検診事業	公的関与	4	シート作成日	令和4年7月28日			
	部局名	健康福祉部			課名	健康推進課	主務課長名	河野 貴子	シート作成者名	西岡 亜耶					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. やさしく健やかな阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実				☒ 1 該当		令和 年 ~ 令和 年	☒ 期間設定なし				
		主要施策		(3) 母子保健の充実				☐ 2 非該当		根拠法令等	母子保健法				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		乳児、1歳6か月児・2歳児・3歳児を対象に行っています。											
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	乳幼児に対する健康診査を実施し、乳幼児の発育・発達を確認し保護者に対して相談を行い、乳幼児の健康保持・増進を図ります。乳児(主に2~5か月児)に対して、専門医による股関節脱臼検診を行い、異常の早期発見・早期治療に努めます。											
			今年度	実施体制の見直しを行い、健康診査の充実を図ります。											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 身体計測、内科診察、歯科診察、保健・栄養・歯科相談を行います。														
	② 1.6歳児健診、3歳児健診では言語聴覚士による聴覚検査及びことばの相談を行います。														
	③ 1.6歳児健診、2歳児健診・3歳児健診では希望者にフッ素塗布を行います。														
	④ 専門医による股関節脱臼検診では、超音波検査により、異常の早期発見・早期治療に努めます。														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 2 年度		令和 3 年度		令和 4 年度		最終目標			
	①乳児健診受診率		受診者数÷対象者数		%	目標	①98	②95	①98	②95	①98	②95			
	②股関節脱臼検診受診率					実績	①96.1	②87.3	①89.9	②91.					
	③1歳6か月児健診受診率		受診者数÷対象者数		%	目標	100		100		100				
	④2歳児健診受診率					実績	①96	②73	①92.5	②93.					
	⑤3歳児健診受診率		受診者数÷対象者数		%	目標	100		100		100				
						実績	98		96						
	予算費目	会 計				款				項				目	
DO	直接事業費	令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考							
		国庫支出金		千円		千円		653 千円							
		県支出金		千円		190 千円		200 千円							
		地方債		千円		千円		千円							
		その他特定財源		千円		千円		千円							
		一般財源		4,730 千円		4,976 千円		6,366 千円							
	計(A)		4,730 千円		5,166 千円		7,219 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費		3.313 人	20,268 千円	3.400 人	20,702 千円	3.400 人	20,544 千円						
		臨時・嘱託職種				看護師(健康推進課)		看護師(健康推進課)							
		臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	1.000 人	2,126 千円	1.000 人	2,104 千円						
全体事業費(A+B)		24,998 千円		27,993 千円		29,867 千円									

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	乳幼児健診における内科・歯科診察や股関節脱臼検診における超音波検査により、異常の早期発見・早期治療に繋げることができています。また、保健・栄養・歯科相談の実施により、保護者の不安軽減等にも努めており、必要性は高いといえます。さらに、新型コロナウイルスの流行に伴い、受診者の不安軽減を図るために、健診時間の短縮に取り組む必要があると考えます。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☒ ある	☐ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	乳幼児期から健診を有効に行うことで、早期に必要な対応を行うことができます。また、疾病の早期発見、早期治療により医療費の削減につながっていきます。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	新型コロナウイルス感染症の影響から、受診率はやや低下していますが、健診未受診者に対しては保健師が個別フォローをしています。今後も継続して受診勧奨や健診未受診者対策を行っていきます。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	健診内容や対象人数に合わせて、随時健診体制やスタッフ数の見直しを行っており、効率的に健診を展開できるよう努めています。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		3	4	3	3	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実		☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等
		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		☐ 縮小		☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止	
	当面の課題	受診率向上のために、未受診者を把握し、継続した受診勧奨と指導を図る必要があります。また、健診を効率的に実施するために健診体制の調整を図ります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	未受診者に対し電話連絡、家庭訪問を実施し関係機関との連携を図ります。また、常に健診内容の見直しを行うことで、健診事業の充実に努めます。					受診率向上のため、今後も引き続き未受診者に対する啓発や、受診に対する指導、勧奨等を図り、健診(検診)に対する理解が得られるよう努めます。また、専門医の確保により、異常の早期発見、早期治療に努めます。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	22	—	5	基本事務事業名	母子保健事業	事務事業名	妊婦・乳児健診委託事業	公的関与	4	シート作成日	令和4年7月14日	
	部局名	健康福祉部			課名	健康推進課	主務課長名	河野 貴子	シート作成者名	河井 ちひろ			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☒ 3 全部委託		
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		1. やさしく健やかな阿波				実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実				☒ 1 該当		令和 年 ~ 令和 年	☒ 期間設定なし		
		主要施策		(3) 母子保健の充実				☐ 2 非該当		根拠法令等	母子保健法		
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		妊婦・乳児を対象としています。									
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	妊婦・乳児に対する一般健康診査、保健・栄養指導を行うことにより、疾病の予防・健康の保持増進を図ります。また、早期発見により適切な医療や早期介入に結びつけます。									
			今年度	妊婦健診を14回、乳児健診を2回実施し、妊婦・乳児の健康管理を図ります。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 妊婦一般健診・乳児一般健診の受診後、医療機関と情報共有し、必要に応じて保健・栄養指導を行います。												
	② 里帰り等で、県外で妊婦一般健康診査を受診された方に費用の一部を助成します。												
	③ 妊婦・乳児に対し、県内の医療機関での健康診査受診費用の一部を助成します												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
	妊婦健康診査受診率		延べ受診者数÷受診票交付枚数		%	目標	80	80					
						実績	77	65.4					
	乳児健康診査受診率		延べ受診者数÷受診票交付枚数		%	目標	90	90					
						実績	64.3	73.9					
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会 計				款		項		目			
			令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考				
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		妊婦健康診査受診率、乳児健康診査受診率は、里帰り出産等で県外で受診するため100%にはならない。				
		県支出金	千円		千円		千円						
		地方債	千円		千円		千円						
		その他特定財源	千円		千円		千円						
		一般財源	21,163 千円		16,757 千円		23,339 千円						
		計(A)	21,163 千円		16,757 千円		23,339 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.167 人	1,022 千円	0.100 人	609 千円	0.100 人	604 千円					
		臨時・嘱託職種											
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		22,185 千円		17,366 千円		23,943 千円						

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	健康診査実施により、疾病の予防と健康の保持増進、対象者への早期介入が図れます。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	妊婦・乳児の健康支援や経済的な支援が図れます。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	健康診査受診を促し、受診後の保健・栄養指導等の支援の充実を図る必要があります。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	妊婦・乳児の健康診査受診を補助することで、健康状態の把握や、疾病等の早期発見により、医療費の削減や妊婦・幼児の健康の維持増進が図れます。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等				☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等					
		☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止				☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止					
	当面の課題	健診の必要性を理解してもらうことで、受診につなげ、要指導者に対しては、効率的・効果的な保健・栄養指導を行う必要があります。				二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
改革案と実行計画	要指導者に対して、電話連絡、家庭訪問等の機会を通して支援を行います。また、子育て世代包括支援センターの利用につなげることで継続的な支援を行います。				妊婦・乳児に対する一般健康診査、保健指導を行うことで、母子の疾病予防・健康保持・増進につなげ、早期に適切な支援につなげます。継続して受診率の向上に努め、また、子育て世代包括支援センターの利用にもつなげてまいります。						
委員会指摘事項											

PLAN	No.	22	—	6	基本事務事業名	母子保健事業	事務事業名	発達・療育相談事業	公的関与	4	シート作成日	令和4年7月14日	
	部局名	健康福祉部			課名	健康推進課	主務課長名	河野 貴子	シート作成者名	河井 ちひろ			
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託		
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		1. やさしく健やかな阿波				実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実				☒ 1 該当		令和 年 ~ 令和 年	☒ 期間設定なし		
		主要施策		(3) 母子保健の充実				☐ 2 非該当		根拠法令等	母子保健事業		
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		乳幼児健診等で心身の発達が気になる乳幼児とその養育者を対象としています。									
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	発達障害診療医や公認心理師、保健師、言語聴覚士、保育士等が適切な相談や指導等を行うことにより、児の健全な発達を促します。									
			今年度	発達が気になる乳幼児とその養育者に対し、適切な助言・サービスが早期に受けれるよう支援します。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 発達が気になる乳幼児とその養育者からの相談に、発達障害診療医の診療のもと、助言や指導を行います。												
	② 保育士や作業療法士等による個別または集団遊びを通して療育訓練を行います。												
	③ 公認心理師による発達検査および個別相談を行います。												
	④ 継続して支援が必要な児についてはサービスに繋げ、関係機関と連携して支援を行います。												
	⑤												
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標			
	発達相談 相談数		人数は予測できないため、目標値は設定に適用しません。		人	目標							
						実績	23	15					
	療育相談 相談数		人数は予測できないため、目標値は設定に適用しません。		人	目標							
						実績	集団(87)・個別(36)	集団(23)・個別(41)					
						目標							
					実績								
DO	予算費目	会 計	款				項			目			
			令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考				
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円						
		県支出金	千円		千円		千円						
		地方債	千円		千円		千円						
		その他特定財源	千円		千円		千円						
		一般財源	606 千円		523 千円		743 千円						
		計(A)	606 千円		523 千円		743 千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000 人	6,118 千円	0.200 人	1,218 千円	0.200 人	1,208 千円					
		臨時・嘱託職種											
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		6,724 千円		1,741 千円		1,951 千円						

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	医療機関における発達障害診療医の診察は予約待ちの状況であり、身近に受けられる発達相談は貴重な機会となっています。また、発達・療育相談を通して、適切な助言・サービスが早期に受けられるよう支援していく必要性があります。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	発達障害診療医の診察や公認心理師等の個別相談は個々のニーズにあったサービスに繋げやすく、有効であると考えます。また、保護者が希望すれば保育士・幼稚園教諭等も同席することが可能であり、関係機関との連携を図りながら児や保護者を支援することができています。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	迅速に、発達が気になる乳幼児とその養育者に応じた適切な助言や指導、療育機関等のサービスの案内ができています。また、就学前には小学校入学にあたり、今後の方向性についてのアドバイスを受けることもできており、目標を十分達成しています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	療育訓練は、集団遊びを通して児の得意な部分の改善に繋がっています。個別相談は相談の必要性が高い児を優先的に予約を入れて日程調整することで、早期にサービスに繋ぐことができています。また、養育者に対しては、児への具体的な関わり方の習得に繋がっており、コスト以上の効果があります。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	事業を継続するため、発達障害診療医(小児神経科医師)や、公認心理師の確保に努めます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	健診後は、必要な児に対して、相談事業につなげることで、早期支援の開始や、保護者の育児不安への軽減に努めます。					乳幼児健診等により、早期支援、訓練等が必要となる場合、児童発達支援センターや事業所等への通所、また専門医への受診等につながる相談事業の充実を図ります。については、事業の継続に努めます。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 令和3年度実施事業対象

PLAN	No.	22	—	7	基本事務事業名	健康増進事業		事務事業名	各種検診等事業		公的関与	1	シート作成日	令和4年7月26日					
	部局名	健康福祉部			課名	健康推進課			主務課長名	河野 貴子			シート作成者名	森川 侑香					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託								
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等								
	総合計画	基本構想(政策)		1. やさしく健やかな阿波				実施計画		事業の開始・終了									
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実				☒ 1 該当		令和		年	～	令和		年	☐ 期間設定なし		
		主要施策		(4) 健康診査・保健指導等の充実				☐ 2 非該当		根拠法令等									
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		健康増進法及び新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業(国の定めたがん検診無料検診の年齢の方)を対象にしています。															
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	疾病の早期発見・早期治療を推進し、市民の疾病予防や健康維持を目的としています。														
				今年度	7～2月は市内医療機関での検診、7～12月は集団・巡回の各種がん検診を行い、検診対象者(肝炎・歯周疾患・乳がん・子宮頸がん)には通知します。														
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																		
	① 検診のお知らせを全戸配布しています。																		
	② 検診希望者の申込受付をし、受診券と検診票を送付しています。																		
	③ 精密検査が必要な方へ、訪問や通知で受診勧奨を行っております。																		
	④ がん検診推進事業対象者へクーポン券の送付を行っております。																		
	⑤ 健診結果に応じた情報提供を行っております。																		
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標									
	健康診査受診者数 フレッシュ健診・基本検診		受診者数		人	目標	↑	↑	↑	↑									
						実績	受診者数47名		受診者数24名										
	がん検診受診者率(単年度) 胃・肺・大腸・乳・子宮がん		受診者数÷対象者数		%	目標	↑	↑	↑	↑									
						実績	8.1		6.5										
	がん検診精密検査受診者率 (単年度) 胃・肺・大腸・乳・子宮がん		受診者数÷対象者数		%	目標	↑	↑	↑	↑									
						実績	77		77										
DO	予算費目	会 計			款			4	衛生費	項			1	保健衛生費	目			4	保健事業費
			令和 2 年度決算			令和 3 年度決算			令和 4 年度予算			備考							
	直接事業費	国庫支出金	127 千円			120 千円			127 千円										
		県支出金	1,304 千円			1,018 千円			1,435 千円										
		地方債	千円			千円			千円										
		その他特定財源	千円			千円			千円										
		一般財源	18,082 千円			21,198 千円			23,990 千円										
		計(A)	19,513 千円			22,336 千円			25,552 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	3.062 人	18,732 千円		3.062 人	18,644 千円		3.062 人	18,502 千円									
		臨時・嘱託職種				管理栄養士			管理栄養士										
		臨時・嘱託工数・経費	0.908 人	0 千円		0.600 人	1,275 千円		0.600 人	1,262 千円									
	全体事業費(A+B)		38,245 千円			42,255 千円			45,316 千円										

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	検診による早期発見、早期治療が必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	今後も検診の周知方法や実施方法を検討し、受診率向上を図ります。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	コロナウィルス感染症の影響もあり、集団検診は人数制限があったため、受診率の向上にはつながりませんでした。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☒ あまり上がっていない		☒ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	検診を受けることにより、早期発見に努め、早期治療につなげることで、受診者の身体的負担の軽減につながることができます。引いては、医療費の削減にもつながります。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	2	4	A	4	4	2	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持		☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実 ☒ 現状維持 ☐ 方法改善 ☐ 民間委託等					
		☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定		☐ 廃止/休止		☐ 縮小 ☐ 統合/終期設定 ☐ 廃止/休止					
	当面の課題	各種検診で、受診率の向上が課題です。若い世代から健康に関心を持ち、健康維持に努めてもらうことが大切です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	市民の方の健康意識の向上を図るため、検診の必要性や有効性について普及啓発を図ることで、受診率の向上を目指します。					早期発見・早期治療による医療費の削減につなげるため、各検診受診率の向上、また健康意識の向上に努めます。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	22	—	8	基本事務事業名	健康増進事業	事務事業名	ヘルスメイト事業	公的関与	1	シート作成日	令和4年7月19日			
	部局名	健康福祉部			課名	健康推進課	主務課長名	河野 貴子	シート作成者名	湯郷 悟史					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		1. やさしく健やかな阿波				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実				☐ 1 該当		平成	年	～	令和	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(2) 市民主体の健康づくり活動の促進				☒ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市内に住民票のあるおおむね40歳以上の方、及び養成講座修了者を対象としています。												
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	ボランティアで食生活改善推進員として、生活習慣病が予防できるように活動します。											
			今年度	生活習慣病予防について学習し、自分の健康は自分で守るという意識を持ち、家族や地域に広げていけるようにする											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 生活習慣病予防のために必要な知識を学習します。														
	② 食事バランスガイドを活用し、食育の推進を図ります。														
	③ 調理実習を行い、普段の食生活を見直す機会を作り、家族や地域へ普及活動を行います。														
	④ 健康づくりのための3指針(食生活・運動・休養)の普及活動を行います。														
	⑤ 食生活改善推進員として、市民が主体になる健康づくり活動への支援を行います。														
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標					
	健康についての意識・知識。 保健行動の変化		教室への参加人数			目標	↑	↑	200						
						実績	44	89							
	啓発・普及活動		地域住民への普及人数			目標	↑	↑	2000						
						実績	1569	1637							
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	款				項			目					
			令和 2 年度決算	令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考							
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	11 千円		14 千円		422 千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	6 千円		9 千円		211 千円								
		計(A)	17 千円		23 千円		633 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	3,059 千円	0.400 人	2,435 千円	0.400 人	2,417 千円							
		臨時・嘱託職種	管理栄養士		管理栄養士		管理栄養士								
		臨時・嘱託工数・経費	0.129 人	258 千円	0.200 人	425 千円	0.200 人	421 千円							
	全体事業費(A+B)		3,334 千円		2,884 千円		3,471 千円								

CHECK		チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	生活習慣病の予防や食育の推進のためには、食生活改善推進員の必要性は高くなっています。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	住民自身が健康に関する知識を習得し、その知識等をヘルスマイトとして、自分の身近な地域に広めることで、住民主体の健康づくりの推進につながっています。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	食生活改善推進員として、家庭や地域で食生活を中心とした普及活動を行っています。幅広い年齢層に対して、知識の普及啓発に努めています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	食生活改善を推進するためには、ヘルスマイトとして活動できる人材を養成し増やしていくことで、より身近な場所での普及活動が広く展開できるため効率性は高くなっています。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小		☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小		☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等
	当面の課題	会員数の減少による、地域での普及活動量の低下が課題です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	阿波市の健康づくりの柱となるために活動目標の明確化、活動手法の充実などを行い、食生活改善推進員がより自主的にかつ活発に活動できるような環境づくりをしていかなければならない。					市民の健康や健康寿命の延伸のため、新規会員の確保を図り、地域活動を積極的に行うことで食生活の改善に努めます。				
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	22	—	9	基本事務事業名	精神保健事業		事務事業名	自殺予防事業		公的関与	4	シート作成日				
	部局名	健康福祉部			課名	健康推進課		主務課長名	河野 貴子		シート作成者名	河井 ちひろ					
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託						
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)		1. やさしく健やかな阿波				実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実				☒ 1 該当		令和		年	～	令和		年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(5) 精神保健・感染症対策の推進				☐ 2 非該当		根拠法令等		自殺対策基本法					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	市民等を対象として啓発活動などを行っています。														
		目的(どうい う状態にし たいのか)	最終的	市民等の自殺予防に対する正しい理解や意識の向上を図り、自殺者の減少に努めます。													
			今年度	若年層に自殺予防に関する正しい知識の普及や理解が深まるように努めます。													
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 乳幼児健診や集団検診時等に、自殺予防に関するパンフレット等の配布を行い、正しい知識の普及を行います。																
	② 高校生を対象に、命の大切さについて講話を行い、自殺予防につなげます。																
	③																
	④																
	⑤																
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	最終目標							
	市民の自殺対策に対する意識の向上		普及啓発		人		目標	4300	2190	1800							
							実績	4300	2000								
							目標										
							実績										
							目標										
DO	予算費目	会 計		款		項		目									
			令和 2 年度決算		令和 3 年度決算		令和 4 年度予算		備考								
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円										
		県支出金	86 千円		82 千円		53 千円										
		地方債	千円		千円		千円										
		その他特定財源	千円		千円		千円										
		一般財源	290 千円		283 千円		255 千円										
		計(A)	376 千円		365 千円		308 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.125 人	765 千円	0.125 人	761 千円	0.125 人	755 千円									
		臨時・嘱託職種															
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	人	0 千円									
	全体事業費(A+B)		1,141 千円		1,126 千円		1,063 千円										

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	自殺者を出さないように、自殺予防に対する意識を高め、正しい知識の普及を行うことは必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在的手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	自殺者の現状を常に見極めながら、アプローチの方法や年代等を見直していく必要があります。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	継続して実施することで、自殺者の増加を防ぐことにつながっています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	事業等を十分に活用しながら、効率的な普及啓発に努めることができます。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	啓発活動等が市民全体に普及していないのが現状です。今後もあらゆる機会をとらえ、広い年代に対して、普及啓発活動に努める必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	様々な機会において啓発活動を行い、自殺予防に対する正しい知識の普及・啓発を行います。また、関係機関との連携を図ります。					継続的な活動が重要であると考えます。今後も、様々な場面において自殺予防に対する啓発・広報活動を行ってまいります。				
	委員会指摘事項										